

子どものセーフガーディング連続研修 2024-25

子どものための活動を行う団体は、安心・安全な環境を整えるためにさまざまな努力をされていることと思います。しかし最近、支援・育成する立場にあるスタッフの不適切行為により、子どもの権利が侵されるといった問題が知られるようになりました。各団体に予防や早期発見が求められていますが、何をどのように取り組めば良いのかわからない、というお悩みをお持ちの団体も多いのではないのでしょうか。

本企画では、全5回の連続研修を通じて「子どものセーフガーディング」の国際基準について

学び、各団体での実践を目指します。座学と並行して実際に取り組みを導入し、他の参加団体とともにその体験や悩みをフィードバックしながら進める伴走型の研修です。セーフガーディングの導入や強化をめざす多くの団体のお申込みをお待ちしています。



◇ ◇ 募集要項 ◇ ◇

1. 目的： 子どもの支援に携わる団体が「子どものセーフガーディング」を導入し、参加者相互の学びを通じてより効果的で機能的に実践を進めていくことを目指します

2. スケジュールと開催方法/場所：

回	日程	方法/場所	トピック(予定)
1	10月23日(水)	オンライン	概要、最低基準、指針、アクションプラン
2	11月20日(水)	オンライン	行動規範、リスク分析と削減
3	12月18日(水)	オンライン	性暴力の理解と予防
4	1月22日(水)	オンライン	広報活動、人材管理
5	2月19日(水)	都内会場	通報相談と対応の基本

※ 第1~4回は9:00~12:00、第5回は9:00~17:00の予定

3. 定員： 10団体(各団体から1~3名) 申込多数の場合は次ページの条件に沿って選考します

4. 参加費： 1団体につき38,500円(税込) 全研修一括

5. 申込： こちらのオンラインフォームから、団体単位でお申込みください。

<https://forms.gle/jVQCpoDj9xGsXwBFA>

6. 〆切： 2024年10月3日(木)



7. 対象者および参加条件： 国内の子ども支援活動に携わっている NPO や民間団体、およびネットワーク等の役員や職員等を主対象とします。

- ✓ 所属団体において、子どものセーフガーディングの導入や強化の意欲があること。(本研修と並行して、自団体の事情に添ったアクションプランを作り、ルールや制度作りなどを実践いただきます)
- ✓ 各団体の参加上限を 3 人までとし、複数人の参加を推奨します。(セーフガーディングの推進に影響力のある役員や幹部、管理職、担当者として制度作りや啓発を担う方、子どもと接する事業の責任者などを推奨)
- ✓ 原則として、5 回全ての連続研修にご参加ください。やむを得ず出席できない場合には、資料や動画に目を通し、団体内でサポート願います。
- ✓ 第 5 回は都内の会場で対面形式の開催予定です。その旅費・宿泊費などは参加者負担となります。

8. お断り

- ✓ オンライン会議アプリ Zoom Meeting や、クラウドサービスを使った文書のやり取りを予定しています。そのためのオンライン環境は各自でご準備ください。アクセス・トラブルや IT 設定についての助言はいたしかねます。
- ✓ オンライン開催時は録画し、登録者のみを期間限定で視聴可能とします。
- ✓ 申込数が 7 団体に満たない場合は、開催を延期することがあります。

企画説明動画

約半年にわたる複数回の研修のため、企画の詳細を説明する動画をご用意しています。参加をご検討される方は必ずご視聴のうえ、諸条件をご確認のうえお申込みください。

https://us02web.zoom.us/rec/share/a67uFnHZRhOA-s66rUqnmOpiQEgSPfh9_gJt7Efv6cBF0cPfoH2-rDhR1QwSWLt.engX8qwQceQFgCJ1

主 催： 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

問合せ先： 金谷 japan.csdesk@savethechildren.org

電話： 03-6859-0070 内線 161 (月・火・水・金曜の 10:00-18:00)

子どものセーフガーディングとは

関係者による関係者による虐待や搾取など、子どもの権利に反する行為や危険を防止し、安心・安全な活動と運営を目指す組織的な取り組みです。疑念が生じた場合の対応と再発防止も含む包括的なものであり、組織の責任として向き合っていく必要があります。ここでは家庭内虐待についてではなく、事業やスタッフ・ボランティア等によって、主に事業の被益者に対してもたらす、あらゆるレベルの不適切な言動の防止に取り組みます。性的搾取・虐待は言うまでもなく、体罰や暴言、差別、ネグレクトなども含みます。故意か過失かは問いません。リスク削減や安全な事業設計から、人材採用、スタッフへの啓発、通報制度、疑念案件調査や人事処遇、再発防止までの幅広い要素からなり、包括的な取り組みが必要とされています。

参加団体に取り組んでいただくこと

この企画では、研修の場で学んだことを各団体に持ち帰り、自団体内の皆さんの理解を得ながら、活動実態に即したセーフゲーディングの仕組みを作っていくことを目指します。そのため、連続研修の期間および研修後の一定期間内に、参加者には以下のことを取り組んでいただく予定です。

- セーフゲーディング実践のための取り組み計画づくり
- リスク分析とその軽減策の導入
- 行動規範やルールづくり
- 報告相談窓口と問題対応の体制づくり
- 団体内外のスタッフや関係者、子どもたちへの周知

これまでの研修参加者の反響

自分たちの活動の点検・改善をするうえで、この研修が大変役立ちました

他の団体との交流から学ぶことが多かったです。自分たちと似たような段階の団体や先行して取り組んでいる団体の話を聞き、自団体がすべき事柄が具体的に見えてきました

日々の活動の中で「良いこと」はすぐ言えても、「そうでないこと」はなかなか指摘しにくいものです。問題があったときに見過ごされないよう、対応の所在をもっと分かりやすくする必要があると痛感致しました

個々人の意識を高めていくだけでなく、明文化されたポリシーや規範と、それを実効あるものにするための体制、教育、情報、制度をセットで考えて取り組む必要があると思いました。

子どもの最善の利益を守り、心豊かな成長・発達のためにセーフゲーディングが必要なことだと再認識しました。また、子どもから高齢者のみならず、今後事業を実施するためにスタッフ同士でこのことを共有、胸に刻み、実施していきたいと強く感じました。

【個人情報保護について】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、活動を通じて取得した全ての個人情報の重要性を認識し、当法人の「プライバシーポリシー」に基づき、個人情報保護法をはじめとする関係法令および関連ガイドラインを遵守して、個人の権利保護に努めます。当法人が取得した個人情報は、当法人主催イベントまたは当法人参加イベントのご案内のほか、同「プライバシーポリシー」記載の利用目的にのみ、使用します。